

平成30年度 ふるさと上越応援寄附金 実績報告書



平成30年度も多くの皆様から、**総額1,771万5千円**ものご寄附をお寄せいただきました。上越市に対する多大なるご支援に深く感謝申し上げますとともに、寄附状況の詳細、寄附金活用事業の成果などをご報告いたします。

今後とも引き続き上越市へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 寄附実績



■寄附項目別内訳

寄附項目（寄附金の使い道）	件数	金額
「マゼランペンギン飼育数世界一」 水族博物館うみがたりを応援しよう！	2件	150,000円
「日本三大夜桜観桜会」 美しい桜の保全活動を支援しよう！	6件	148,620円
「上杉謙信公のふるさと春日山城跡」 将来に向けて保存しよう！	10件	230,000円
「すこやかなまちづくり」 子育て世帯にも高齢者にもやさしいまちづくり！	19件	3,085,000円
「海と山と大地」 上越の豊かな自然、中山間地域を守ろう！	10件	400,000円
「近代日本をリードした郷土の偉人たち」 先人に学ぶ人づくり！	-	-
「受継がれてきた郷土の文化財」 地域固有の文化財を後世に伝えよう！	3件	230,000円
「市長にお任せ」	21件	13,472,000円
合計	71件	17,715,620円

■寄附者の居住地別内訳

寄附者居住地	件数	金額
上越市内	12件	6,168,620円
新潟県内（市内除く）	5件	330,000円
新潟県外 （関東甲信地方40件、東海地方4件、近畿地方9件、 中国・四国地方1件）	54件	11,217,000円
合計	71件	17,715,620円

2 寄附金の活用状況、事業実績



～「マゼランペンギン飼育数世界一」水族博物館うみがたりを応援しよう！～

新水族博物館整備事業 150,000 円

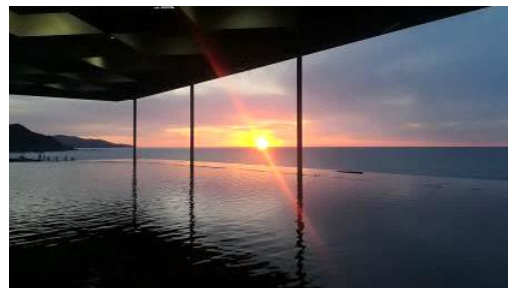
寄附金は、平成 30 年 6 月 26 日にグランドオープンした上越市立水族博物館「うみがたり」の整備に活用させていただきました。

水量 1,000 トンを超える大水槽では、イワシの群泳やサケ、ブリなど日本海に生息する魚たちを多数ご覧いただけます。また、日本海に沈む美しい夕日を水面越しに眺めることのできる「日本海テラス」は、大好評です。

日本海の生き物を見せるだけでなく、その生態系や環境を学ぶ施設を実現させたこと等が評価され、(一社)全日本建築技術協会が主催する平成 30 年度全建賞を受賞いたしました。また、初年度の目標来館者数である 60 万人を、オープンからおよそ半年間で実現することができました。



▲ 水中トンネルから海底地形を一望する



▲ 日本海テラスからの夕景

トピックス： アルゼンチン共和国チュブ州と協力協定を締結

～マゼランペンギンの保全に向けて～

うみがたりでは、世界で最も多い 120 羽を超えるマゼランペンギンを飼育しており、その愛くるしい姿で連日お客様を楽しませています。

一方で、国内では飼育個体の高齢化や遺伝子多様性の維持が課題となっており、また、マゼランペンギンの故郷である南米大陸の南大西洋では、気象や海洋環境などの変動により、個体数が減少傾向にあることが懸念されています。

このため上越市では、マゼランペンギンの生態を見守り、保全活動の輪を広げることを目的に、平成 30 年 2 月、マゼランペンギンの世界最大の繁殖地であるプンタ・トンボを管理するアルゼンチン共和国チュブ州と国際協定を結びました。

また、同年 6 月 26 日のうみがたり開館式典には、チュブ州からネストル観光省保全保護地域担当次官にご出席いただき、共にグランドオープンを祝いました。



▲ 自然保護区プンタ・トンボの環境を再現



▲ チュブ州を訪問し協定を締結



▲ 開館式典テープカット

～「日本三大夜桜観桜会」美しい桜の保全活動を支援しよう！～

高田公園樹木保守管理事業 3,320,620 円（うち市長にお任せから 3,172,000 円を上乗せ）

寄附金は、高田公園の桜の保全事業に活用させていただきました。

高田公園桜長寿命化計画に基づく事業の実施により、樹木の計画的な世代更新と生育の健全化が着実に進んでおり、手当てを施し、元気になった桜は、旺盛に花を咲かせるようになりました。

平成 30 年度からは、市の非常勤一般職として、高田公園の桜管理を担う「桜守^{さくらもり}」を新たに採用し、専門家（樹木医）の指導・助言を定期的に受けながら、管理体制を一層強化しています。

また、市民との協働プロジェクト「桜プロジェクト J」では、桜の施肥（お礼肥え）、腐葉土を用いた土壌改良、講習会等の活動に継続的に取り組んでおり、寄附金を活動の備品購入等に活用しています。



▲「桜プロジェクト J」活動風景（桜の施肥）



▲ 手当て後、旺盛に花を咲かせる桜

トピックス：「2018 全国さくらシンポジウム in 上越」の開催



▲ 2018 全国さくらシンポジウム in 上越

上記の取組等により、平成 30 年 4 月、「2018 全国さくらシンポジウム in 上越」が開催されました。

全国さくらシンポジウムは、(公財)日本花の会が、桜の保全について語り合う場として年に 1 回開催しており、新潟県内では初めての開催となりました。

「100 年先も元気な桜のもとで」をテーマとしたパネルディスカッションや、市民団体による桜の保全活動の発表、上越教育大学附属中学校の生徒による桜の歴史を伝える活動の紹介等が行われ、上越市の桜の魅力を発信する良い機会となりました。



◀ 平成 30 年度観桜会 夜桜の様子

開花日が想定よりも早かった影響もあり、前年よりも来場者数が減少しましたが、およそ 88 万 4,000 人の方にご来場いただきました。

～「上杉謙信公のふるさと春日山城跡」将来に向けて保存しよう！～

春日山城跡 5 か年整備事業

230,000 円

寄附金は、昨年度同様、上杉謙信公の居城であった国史跡である春日山城跡の保全、景観の復元等の取組に活用させていただきました。

平成 30 年度は、有識者の指導を受けながら、城跡保全に不可欠な土留め工事、排水路修繕工事を主に実施しました。また、来訪者の皆様が安心安全に城跡を散策できるよう、遊歩道沿いに安全柵を設置し、下草刈りや低木伐採による景観整備も行いました。

市民協働による清掃活動や土の一袋運動、松葉かきも継続して行い、城跡の保護と郷土の史跡への愛着を深めることができました。

引き続き、水処理や植生管理等、点検・観察を継続し、市民の皆様と春日山城跡の保全に取り組んでいくとともに、歴史学習等の教材としても利活用を図ってまいります。



▲ 土木・地質の専門家による現地指導



▲ 市民協働による清掃活動（本丸跡）

トピックス：第 93 回謙信公祭 ～12 年ぶりに公募により謙信公役を決定～

平成 30 年 8 月 25 日（土）、26 日（日）に開催された第 93 回謙信公祭では、平成 18 年以来 12 年ぶりに公募により選ばれた上杉謙信公役が主役を務めました。

上越市民又は市内に通勤、通学している 18 歳から 65 歳までの健康な人を対象に、男女問わず募集を行い、22 名の応募者の中から、学校法人マハヤナ学園理事長であり、「謙信公『義の心』の会」会長の石田明義さんが謙信公に選ばれました。

開催当日は、恒例の狼煙上げ、出陣行列、川中島合戦の再現などが実施され、盛り上がりを見せました。

なお、本年度は、令和元年 8 月 24 日（土）、25 日（日）に第 94 回謙信公祭を開催予定です。お時間がございましたら、是非お越しください。



▲ 鬨の声を上げる謙信公



▲ 川中島合戦の再現



▲ 謙信公祭開始を告げる狼煙上げ(春日山城跡)

～「すこやかなまちづくり」子育て世帯にも高齢者にもやさしいまちづくり!～

保育所運営費（保育環境の整備） 2,625,000 円

寄附金は、公立及び私立保育園・認定こども園における保育園士の雇用推進のために活用させていただきました。

保育園士は、園児との世代間交流、高齢者の知識の保育現場での有効活用などを目的に平成12年に創設されました。

笹笛、竹とんぼなど、園児の両親世代も知らないような伝承遊びを通じた交流のみならず、女性が多い保育園という環境や現代の核家族化の中で園児にとって貴重な中高年の男性と触れ合う機会の創出となり、保育園においてなくてはならない存在となっています。

このような保育園士の意義に賛同いただき、市内の公立及び私立保育園・認定こども園の全園で雇用を実現しており、保育補助及び園舎整備などで活躍していただいています。



▲ 保育園士によるプール設置作業の様子



▲ 私立保育園における七夕飾りの設置作業

社会福祉施設等の整備 460,000 円



▲ 平成31年4月6日 竣工・開園式



▲ なおえつ保育園舎外観



▲ 解放感あふれる遊戯室

社会福祉施設等の整備に活用してほしいと希望された方からの寄附金につきましては、将来的な施設整備に要する資金として活用させていただくため、「上越市社会福祉施設整備基金」に積立てさせていただきました。

また、平成30年度は、これまで積み立てさせていただいた寄附金を含め、基金の一部を「なおえつ保育園」整備の財源として活用させていただきました。

外観に周囲の景観と調和した落ち着いたデザインを取り入れ、室内は、建物の中央に吹抜けを設け、開放感を持たせながら、木の柔らかさや温もりを感じることができる空間に設けるとともに、安全で優しさに満ち溢れた園舎となっております。

なおえつ保育園の整備により、地域における子育て支援がより充実するとともに、安心安全な保育環境の提供が可能となりました。

～「海と山と大地」上越の豊かな自然、中山間地域を守ろう！～

中山間地域振興事業 400,000 円

寄附金は、中山間地域における集落支援、地域活力の維持・強化を図る取組に活用させていただきます。

集落支援担当者、「集落づくり推進員」及び「地域おこし協力隊」が連携し、高齢化や人口減少などにより地域の共同作業等の維持に苦勞している集落に対して、集落巡回や住民との交流を通じて、コミュニティ機能の維持・強化を図り、支え合い体制の構築や自主的・自発的な地域づくりを支援しました。

中山間地域支え隊事業では、集落行事や共同作業の実施が困難な中山間の集落に対し、市内の企業などから延べ 174 人のボランティアを派遣し、行事や作業の実施を市全体で応援しました。



▲ 集落づくり推進員 地域との話し合い



▲ 中山間地域支え隊 用水普請、草刈り

トピックス：中山間地域で活躍する地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地域において、市外から意欲と情熱を持った人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。令和元年7月現在、中山間地域の担い手として、大島区、牧区、柿崎区で4人の隊員が活動しています。



白井 藍 隊員 (大島区 旭地区)



原田 真理 隊員 ※写真右側
(牧区 原・白峰地区)



小田切 房子 隊員
(柿崎区 黒川・黒岩地区)



ガルシア パランコ エミリオ 隊員
(柿崎区 黒川・黒岩地区)

■ 上越市地域おこし協力隊フェイスブック上で各隊員が活動状況を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

～「受継がれてきた郷土の文化財」地域固有の文化財を後世に伝えよう！～

歴史的建造物等整備支援事業

230,000 円

寄附金は、市民団体などが行う歴史的建造物等の整備の支援に活用させていただきました。

平成 30 年度は、国の登録有形文化財である頸城区森本の「白田邸」の床下や外壁、谷木、戸袋、木製雨戸、袖垣などの改修を支援しました。

また、冬期間の採光を目的とした高窓を並べるなど、鉄道草創期における雪国ならではの様相を今に伝える「えちごトキめき鉄道二本木駅」の外壁や内装、厨房設備、空調設備などの改修を支援しました。

本事業では、引き続き市民の主体的なまちづくりを推進し、歴史的建造物の保存とともに、地域コミュニティの形成や誘客のための環境整備を支援してまいります。



▲ 白田邸 改修が完了した外壁と木製雨戸



▲ 二本木駅 改修が完了した駅舎

トピックス：～新潟県内唯一のスイッチバック～ 二本木駅



▲ 進行方向を変える列車



▲ 喫茶さとまるーむ

中郷区にある二本木駅は、明治 43 年の鉄道草創期に建設され、旧信越本線の駅舎やホーム上屋などの施設一式が残り、現在新潟県内の鉄道駅で唯一「スイッチバック式」のホームを有する駅です。

今年 3 月、国の文化審議会は、二本木駅舎、スイッチバック線雪囲い、ホーム上屋、ホーム待合所、地下道と上屋、倉庫、ランプ小屋の 7 件を国登録有形文化財に登録するよう文部科学省に答申しました。今後、官報告示をもって正式登録される見通しです。

また、今年 4 月からは、これまでえちごトキめき鉄道(株)が行っていた駅舎の業務を、中郷区の住民組織である NPO 法人中郷区まちづくり振興会が請け負うこととなり、待合室を喫茶スペースにして全国から訪れる鉄道ファンをもてなすなど、駅を生かしたまちづくり、地域活性化の取組を行っています。

～「市長にお任せ」～ その他当市の重点事業に活用

小林古径記念美術館増改築事業

10,000,000 円

寄附金は、小林古径記念美術館の増改築工事のために活用させていただきました。

小林古径記念美術館は、当市出身の日本画家で近代日本画壇を代表する「小林古径」を顕彰することを目的とした施設で、上越市立総合博物館と施設を共有しながら運営してまいりましたが、このたび、展示室や一時保管庫、多目的室等を小林古径邸敷地内に移設することで、小林古径邸と一体の美術館として再整備することとしました。

平成 30 年度は基礎工事が完了するなど、令和 2 年秋に予定しているリニューアルオープンに向け、着々と工事を進めています。

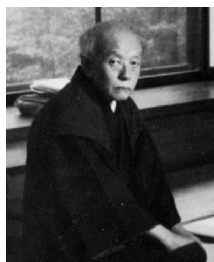
リニューアル後は、小林古径作品のほか、当市ゆかりの作家や美術品等を紹介する市立美術館としての機能を持たせるとともに、美術講座や講演会等を開催できる多目的室を設け、子どもから大人まで幅広く美術に親しむ機会を提供し、創造性豊かな活動の場所を創出してまいります。

▼ 小林古径記念美術館完成イメージ図

～令和 2 年秋 リニューアルオープン予定



▼ 小林古径肖像



▼ 小林古径作品『牡丹』



埋蔵文化財センター管理運営費

300,000 円



▲ 上越市埋蔵文化財センター



▲ 展示案内の様子



▲ 出土品展示の様子

寄附金は、上越市埋蔵文化財センターを活用した上越の文化財、歴史の発信に活用させていただきました。

埋蔵文化財センターは、上越市内の埋蔵文化財を調査研究・保存管理・普及公開する施設です。また、小中学校の総合学習の時間を通じて、郷土の歴史・文化を学ぶ場としても大いに活用されています。

平成 30 年度は上越市立歴史博物館のリニューアルに合わせ、通史展示（主に先史時代～戦国時代）を行うとともに、上杉謙信公ゆかりの文化財や春日山城跡に関する資料の展示を充実させ、謙信公の顕彰と次世代への伝承に努めました。

今後も、企画展の充実や講演会、展示案内の実施などを通じ、郷土の歴史、魅力を発信してまいります。

3 寄附者様、市への応援メッセージ紹介



平成 30 年度に寄附いただいた皆様と上越市への応援メッセージを紹介させていただきます。なお、お申し込みの際に、同意いただいた方のみ掲載しております。(掲載はお申し込み順)

お名前	寄附金額	上越市への応援メッセージ
(株)越の国 いろり庵	18,620 円	上越市で取組んでおられる「日本三大夜桜観桜会 美しい桜の保全活動を支援しよう！」活動とても素敵です。歴史と文化の「日本三大夜桜」高田公園がこれからも県内外の皆様との交流の懸け橋としてあり続けますことを願い、微力ではございますが当社「さくら咲く」プロジェクトは桜保全活動を応援させていただきます。
入江 博徳	-	-
稲田 志穂子	-	-
富永 俊一	100,000 円	-
安達 茂義	-	-
匿名	-	安塚町出身です。安塚高校が閉校になり大変さびしい思いです。子供が少ない現状を見れば、しかたのないことでしょう。自然こそ「宝」と思います。
匿名	-	市は高田公園の桜が元気にいつまでも素晴らしい花が咲き訪れた方々に感動を与えられるよう 100 年先を見据え樹勢回復の事業を実施しています。市民に理解と支援が広がることを期待して寄付します。
秦 義一	200,000 円	文化財を観光の目玉に！ 文化財をめぐる観光ツアー・イベントを企画し、上越市の歴史・観光をもっとアピール・発信を期待しています。
秦 裕一	100,000 円	-
俵木 裕毅	-	-
福田 良夫	100,000 円	長く神奈川県民、川崎市民ですが、心はいつも古里にあります。上越市の平安と発展を祈念しております。
井手 理絵	10,000 円	父のふるさとです。上越市は観光地もたくさんあるので、もっと観光する人が増えるといいと思っています。応援しています。
白居 裕	-	-
前山 直樹	-	-
前崎 盛和	-	-

お名前	寄附金額	上越市への応援メッセージ
鷲田 健太	-	-
杉田 達	100,000 円	-
内藤 友香里	-	-
伊藤 孝一	-	-
乾 友浩	100,000 円	-
北川 真	-	-
内村 聡	10,000 円	謙信公のここを守り、全国へ引き続き発信してください!!
北村 正美	-	-
田中 嘉一	-	仕事の都合で東京都に住所を移しております。住民税は東京都に納税しておりますが、その一部を故郷、上越市の発展の為に使ってください。
田中 康生	-	-
小林 弘	30,000 円	私は昭和 21 年から 11 年間、安塚町（当時）に住んでおりました。時は過ぎ故郷の過疎化が進む状況は寂しい限りです。雪深い山間部の景色は懐かしく故郷を思う気持は変わりません。上越市の豊かな自然を守り地域文化の伝承に少しでも役に立てればと思います。（神奈川県横浜市在住）
新井 康雄	30,000 円	冬の除雪は大変ですね。私の地域では雪はほとんど降りません。TV などでもその大変さをみるにつけ、少しでも役立てるよう、送らせていただきます。
玉越 久子	-	-

【担当・お問合せ先】

上越市 財務部 用地管財課 財産運用室

〒943-8601 新潟県上越市木田 1 丁目 1-3

電話：025-526-5111 FAX：025-526-6114

E-mail：youchikanzai@city.joetsu.lg.jp

URL：http://www.city.joetsu.niigata.jp

